

特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 倫理規程

規程第 9 号

(目 的)

第 1 条 本規程は、特定非営利活動法人特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会（以下「当団体」という。）の組織運営、諸事業の推進等に関わる全ての関係者が、定款第 3 条に基づき当団体の社会的使命と役割を自覚し、事業執行の公正さに対する社会からの疑惑や不信を招くような行為の防止を図り、もって、当団体に対する社会的な信頼を確保することを目的とする。

(基本的人権の尊重)

第 2 条 当団体の役職員は、すべての人の基本的人権を尊重し、差別や個人の尊厳を傷つける行為をしてはならない。

(法令等の遵守)

第 3 条 当団体は、関連法令及び定款、倫理規程、その他の規程、内規を厳格に遵守し、社会的規範にもとることなく、適正に事業を運営しなければならない。

- 2 当団体は、反社会的勢力との取引は一切行ってはならない。
- 3 当団体の役職員は、不正若しくは不適切な行為又はそのおそれがある行為を認めた場合には、躊躇することなくコンプライアンス規程に則り対応しなければならない。

(私的利益追求の禁止)

第 4 条 当団体の役職員は、その職務や地位を自己又は第三者の私的な利益の追求のために利用することがあってはならない。

(利益相反等の防止及び開示)

第 5 条 当団体の役職員等は、その職務の執行に際し、当団体との利益相反取引が生じる可能性がある場合には、直ちにその事実の開示その他当団体が定める所定の手続に従わなければならない。

- 2 役職員は定期的に「利益相反取引に該当する事項」に関する自己申告を総務担当理事に行い、理事会において内容確認を徹底し、迅速な発見および是正を図る。

(特別の利益を与える行為の禁止)

第 6 条 当団体の役職員は、特定の個人又は団体の利益のみの増大を図る活動を行う者に対し、寄付その他の特別の利益を与える行為を行ってはならない。

(情報開示及び説明責任)

第 7 条 当団体は、その事業活動に関する透明性を確保するため、その活動状況、運営内容、財務資料等を積極的に開示し、社会の理解と信頼の向上に努めなければならない。

(個人情報保護)

第 8 条 当団体は、業務上知り得た個人的な情報の保護に万全を期すとともに、個人の権利の尊重にも十分配慮しなければならない。

(研 鑽)

第 9 条 当団体の役職員は、事業活動の成果の向上のため、絶えず自己研鑽に努めなければならない。

(改 正)

第 1 0 条 本規程を改正するときは、理事会の議決を得なければならない。

附 則 本規程は、令和 2 年 2 月 1 日から施行する。